

「まちを良くしたい」 思い語る

第8回日野町まちづくり町民会議



会議の最後、全体会で各班の討議内容を報告

まちの課題や、これからのまちづくりなどについて話し合う

日野町まちづくり町民会議（生田公恵会長）が、6月17日、町役場で開かれました。

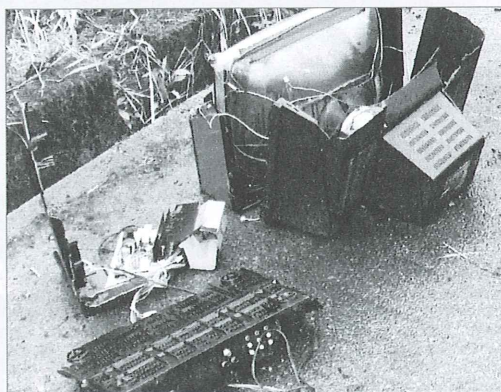
今回も3班に分かれてのグループ討議を行い、今まで話し合われた内容について議論したり、具体的な活動計画について話し合いました。その主な内容をお知らせします。

テーマ「少子化・若者定住、文化・観光 生活環境」について

■A班の討議内容

【主な意見】

- ▼町民会議のメンバーでラフティングを体験してみたい
- ▼近所の人が先日体験し、感動したと話していた。川からの眺めは別世界だと。川と親しむ機会をつくることで、環境について考え、見直すきっかけになると思う
- ▼子どもたちに釣りの楽しみを体験してほしい。一組でも希望があれば指導したいと考えている
- ▼岸本のリサイクルセンターや、県内でごみの堆肥化に取り組んでいるところに視察に行ってみよう
- ▼環境問題といえば、近所にマツトレスが不法投棄されていた。みんなで気をつけて不法投棄をなくしたい
- ▼都会の人との交流について。町外在住の町出身者との交流と併せて、日野町出身者以外の田舎暮らしに興味のある人たちとも交流ができれば
- ▼若い世代の人でも、こちらに移



不法投棄などのごみ問題も身近な課題

- 住したいという希望を聞いているが、肝心の家がない。使える空き家情報があれば教えてほしい
- ▼列車を撮影する鉄道ファン、いわゆる「撮り鉄」の人たちを町内で多く見かける。一部の人は線路内に入っても危険だが、それだけ多くの人が日野町にやってくるというところでもある
- ▼今までの会議では、どんな話も評論に終わっていた。これからは何か形に残るようなことをしたい

テーマ「過疎・高齢化」について

■B班の討議内容

【主な意見】

▼4月に行った「ジゲの防人隊（さきもり隊）」の活動で、町民会議としての実績ができたと思う。これからも続けていきたい。いくつかの地域で手伝ってほしいとの要望も聞いている。お互い気楽に助け合えるようになればと思う

▼さきもり隊の作業には鳥取からも人が来てもらえて、大変だったが楽しかった。人のための仕事は気持ちがいい

▼作業後の交流が大切だと思う。

それがあつたからこそ、その場でよかったという声も聞けた。今後は作業の保険や草刈用具なども必要

要になってくると思う

▼中山間地域等直接支払制度にこれから地域で取り組む予定。高齢化で今後の農作業に不安があるので、草刈りなど、さきもり隊に世話になりたい

▼自分の地区では、直接支払交付金が8割交付だったのを、若い担い手ができたので今期から10割交付で申請する予定

▼ふるさと納税制度について、同窓会などで集まったときに、町外の人に宣伝したい。町でも、今後はふるさと納税者に特典を考えているようだし、全町民挙げての取り組みを提案したい

ふるさと納税「税と戻金の関係」について協力

町では、2008年6月から「愛と元気の日野町ふるさと基金」を創設し、皆さんからの寄付を募っています。

いただいた寄付金は、福祉や文

化活動、安心・安全な地域づくりなどに活用します。皆さんの親せき・友人などにもご紹介ください。

【問合せ・パンフレット配布】役場企画政策課（電話72・0332）

テーマ「産業の振興」について

■C班の討議内容

【主な意見】

▼農地レンタルについて、役場と総合事務所から説明を受けた。耕作放棄地の活用を進めるためにも、まずは、遊んでいる農地、貸したい農地があるか無いか、アンケート調査などで把握したい

▼自分は農地を借りて農業しているが、そう難しくないと思う。借り賃も安いし、米で支払いも可能。今の時代、お金を払ってでも農地を貸したい人もいる

▼田んぼより、小さな面積の畑を町外から来て耕作できるようになたちで募集してみてもいい

▼担い手の人に話を聞くと、水の管理や条件などいろいろな問題もあるようだ。条件さえ良ければ借りたと言われた

▼空き店舗を使って朝市をしてみたかどうか。国道沿いの空き店舗を利用すれば人通りもあるし良いのではないだろうか

▼企業誘致は簡単なものではないが、難しいと言っているだけでは何も前に進まない。先進地の話を聞いたとして、少しでも進めていければと思う

▼町内に葬祭会館をという話について、業者に話を聞いてみたが、悪いような話ではなかった。葬儀業者を誘致するほうが簡単かもしれない

▼放射性廃棄物処理場の誘致について詳しい人に話を聞くこともできるが、住民にとって、これが良いか悪いかは分からない

今回の会議は、8月に開かれる予定です